

第33回香川県新型コロナウイルス対策本部会議
(持ち回り開催)

次 第

日 時：令和2年12月24日（木）

議 題

1. 「感染警戒特別警報」
知事から県民の皆さまへの緊急メッセージについて
2. その他

「感染警戒特別警報」

知事から県民の皆さまへの緊急メッセージ

本県においては、県民の皆さま、事業者の皆さまが、新型コロナウイルスに十分な警戒をしていただいていることもあり、現時点では、本県以外の感染が急増あるいは高止まりしている都道府県と比べれば、感染者数は少なく推移しているとみています。

しかし、今月に入り、3つの集団感染事例が発生したほか、その他の地域でも新規感染者が散見されるなど、昨日までに100名を超える新型コロナウイルスの感染者が報告され、直近1週間の累積新規感染者数が52人となり、香川県対処方針の次の対策期である「感染拡大防止対策期」に移行する際の見込みとなる48人を超えることとなりました。

一方で、もう一つの指標である感染経路不明者数の割合は9.6%と低い状況となっており、次の対策期に移行することについては、なお、状況を見極める必要があると考えています。

ただし、このまま、感染の拡大が続き、感染者数が累増していくといった事態になれば、県内の医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応が難しくなるだけでなく、通常の医療にも大きな影響が生じるおそれがあります。

また、保健所では、感染者の行動履歴などを迅速に調査し、感染の可能性があると考えられる方を幅広く積極的に検査を行うことによって、いわゆる封じ込めを図っていますが、大規模な集団感染が連続して発生すると、これまでのように早期に封じ込めることも困難になるおそれがあります。

私といたしましては、こうした事態を避け、社会経済活動の両立を図っていく必要があると考えており、こうした状況を踏まえ、この度「感染警戒期」における「感染警戒特別警報」を発令し、県民の皆さま、事業者の皆さまに対し、これまでの感染防止対策を遵守いただくとともに、特に、以下の対策の徹底について、今一度強くお願いします。

- ・改めて、感染予防を徹底してください。
- ・会食はできるだけ少人数・短時間ですませましょう。
- ・医療従事者・高齢者施設関係者等は、改めて、感染防止対策の徹底をお願いするとともに、発熱等の症状があれば早めの受診をお願いします。

なお、先日、私から「穏やかな年末年始を過ごすために」というメッセージを出しましたが、国の分科会においても、年末年始に向けてのお願いが示されておりますので、こちらも踏まえていただくようお願いします。

令和2年12月24日

香川県知事 浜田 恵 造

香川県の現状

パネル1

【12/9～感染警戒期】

直近1週間の 累積新規感染者数	先週1週間の 累積新規感染者数
52人	10人

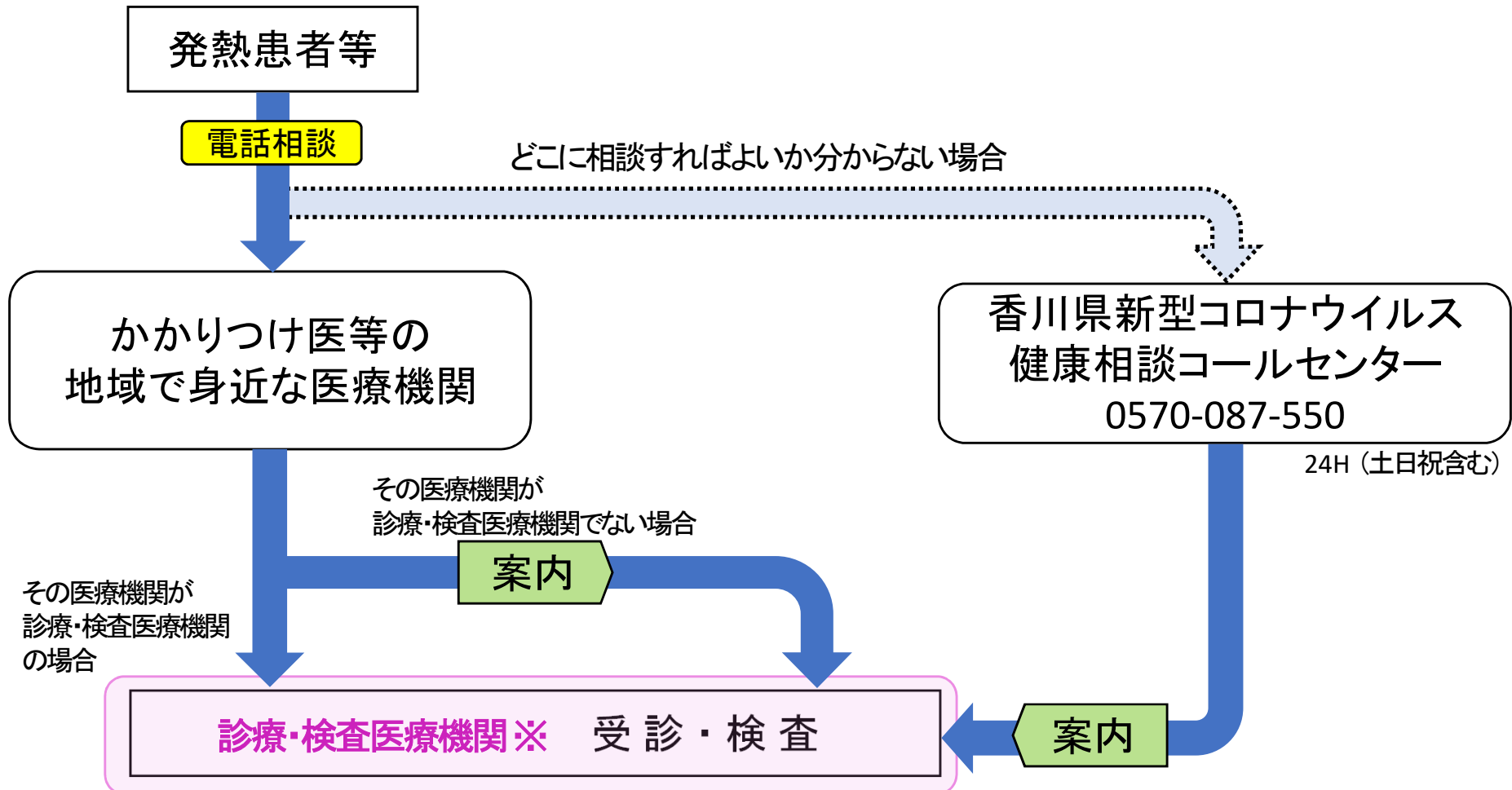
12月 累積新規感染者数 (12月23日現在)	11月 累積新規感染者数
110人	46人

指 標	12月23日現在	(参考) 国分科会提言 (R28.7) における指標及び目安	
		ステージⅢ	ステージⅣ
①直近1週間の累積新規感染者数 (対人口10万人)	10万人当たり 5.4人 <直近1週間(12.17～12.23) 52人>	1週間10万人当たり 15人以上	1週間10万人当たり 25人以上
②感染経路不明者数の割合	9.6% <①の52人のうち感染経路不明は5人>	50%以上	
③直近1週間と先週1週間の比較	5.2 <先週1週間(12.10～12.16) 10人>	1を超える	
④病床のひっ迫具合 (病床全体)	13.1% <入院患者26人 / 病床199床>	20%以上	50%以上
〃 (うち重症者用病床)	0.0% <重症患者0人 / 病床26床>	20%以上	50%以上
⑤療養者数 (対人口10万人)	10万人当たり 7.1人 <68人 [入院26、宿泊療養等42]>	10万人当たり 15人以上	10万人当たり 25人以上
⑥直近1週間のPCR陽性率	2.9% <陽性52 / 検査数1765>	10%以上	

感染警戒特別警報

- 感染予防の徹底を
- 会食は少人数・短時間で
- 医療従事者・高齢者施設関係者等は、
症状があれば早めの受診を

発熱等の症状のある方の相談・受診体制について(令和2年11月1日～)



※ 発熱患者等が地域で診療や検査を受けられる医療機関として、県が指定した医療機関

全国の皆さんへのお願い

令和2年12月23日(水)
第19回新型コロナウイルス
感染症対策分科会

4月の緊急事態宣言を出した当時には感染を収束させるために、広範に社会経済を抑制するという方法を取らざるを得ませんでした。しかし、この半年以上の経験を通して私たちは多くのことを学び、いわゆる“急所”を押えることができれば感染を収束させることが可能であることが分かってきました。

皆さんにおかれては、年末年始に向けて、以下の“急所”だけは是非押さえるようお願いいたします。

1. 忘年会・新年会などについて

食事の際の会話は、飲酒の有無、昼夜・場所にかかわらず、感染が生じやすい場面です。

(1) 食事は、静かにいただきましょう。

(2) 家族・いつもの仲間で、5人以上は控えて、すいている場所を選びましょう。

(3) おしゃべりするときはマスク着用。少なくともハンカチなどで口元をおさえま
しょう。

2. 帰省について

帰省の際には、感染防止策を徹底して、大人数の会食は避けてください。そうした対応が難しい場合には帰省について慎重に検討してください。